

RL78/G15, G16

Fast Prototyping Board 用 COM ポート接続復旧アプリケーション

要旨

RL78/G15, G16 の Fast Prototyping Board (FPB) は、オプション・バイトの設定でリセット端子をポートとして使用することは禁止しています。誤って設定してしまった場合、以降、COM ポート接続でのデバッグおよび書き込みができなくなります。

本アプリケーションでは、専用復旧アプリと手順により、フラッシュ・メモリを消去してオプション・バイトを禁止設定前の状態に戻すことができます。

動作確認デバイス

RL78/G15 Fast Prototyping Board (RTK5RLG150C00000BJ)
RL78/G16 Fast Prototyping Board (RTK5RLG160C00000BJ)

目次

1. 書き込めなくなる現象について.....	3
1.1 発生する条件.....	3
1.2 発生メカニズム.....	3
2. 復旧方法.....	5
2.1 E2 エミュレータ, E2 エミュレータ Lite 使用時.....	5
2.2 復旧アプリ使用時.....	5
2.2.1 復旧フロー.....	5
2.2.2 動作確認条件.....	7
2.2.3 ハードウェア説明.....	7
2.2.4 復旧アプリのインストール手順.....	8
2.2.5 User Interface (UI).....	10
2.2.6 操作手順.....	11
2.2.7 注意事項.....	13
3. 参考ドキュメント.....	13
改訂記録.....	14

1. 書き込めなくなる現象について

1.1 発生する条件

RL78/G15, G16 の FPB を使用して COM ポート接続にて該当するプログラムを書き込むと、以降、COM ポート接続でのデバッグおよび書き込みができなくなります。

- ・該当するプログラム
オプション・バイト設定で PORTSELB = 0 に設定されたプログラム

PORTSELB	P125/RESET/INTP0/INTP1/(VCOUT0)/(VCOUT1)/(SI11) ^{注1} 端子の制御
0	ポート機能 (P125/INTP0/INTP1/(VCOUT0)/(VCOUT1)/(SI11) ^{注1})
1	RESET入力 (内蔵プルアップ抵抗が常時有効)

注1. 20ピン以上製品の場合-

備考. E2 エミュレータ, E2 エミュレータ Lite (E2, E2 Lite) を使用しデバッグまたは書き込みを行う場合、本現象は発生しません。

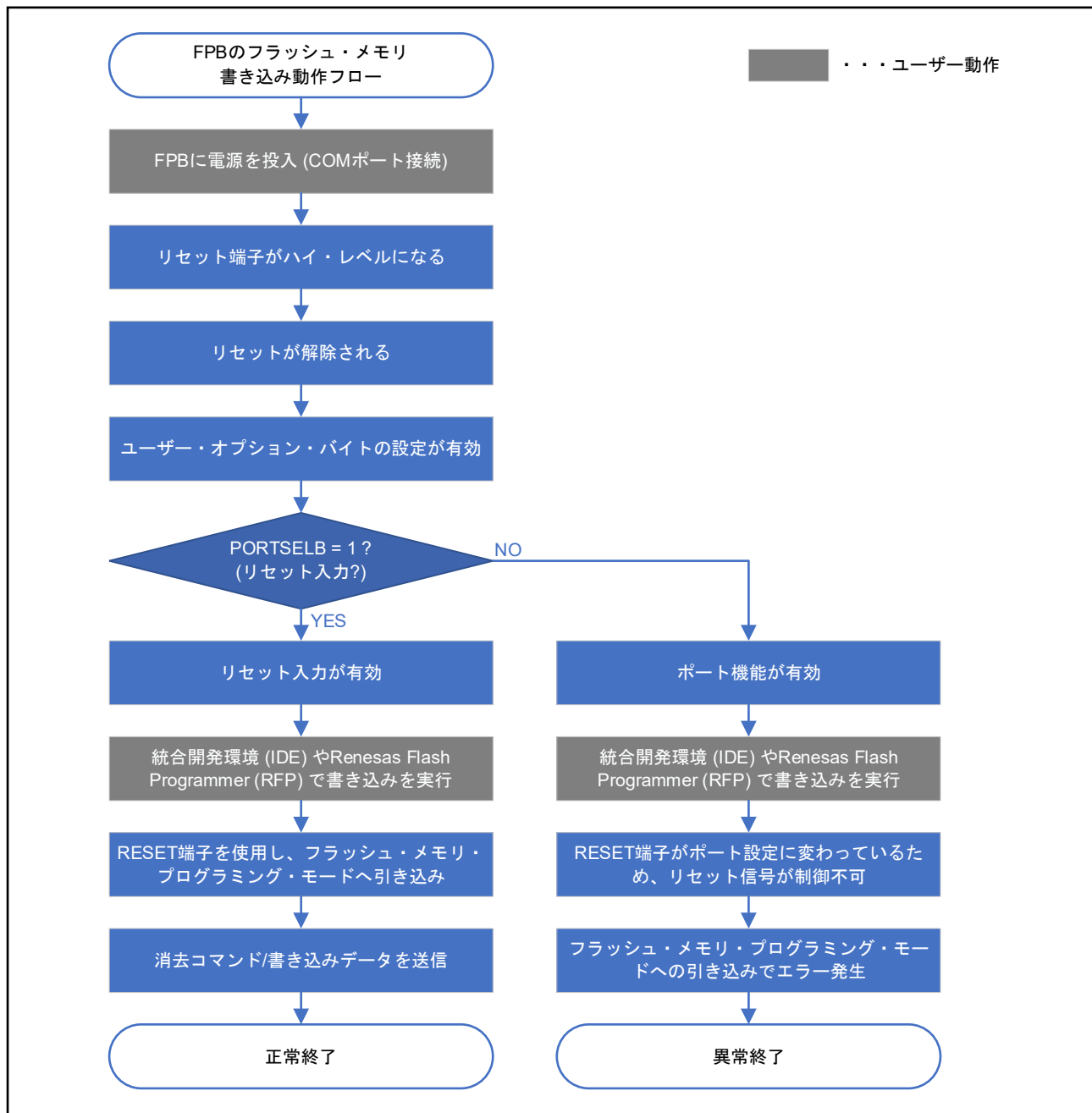
1.2 発生メカニズム

本現象は、該当するプログラムを書き込んだ FPB を使用して COM ポート接続にて書き込みを行う際に、フラッシュ・メモリ・プログラミング・モードに引き込めなくなることに起因します。

フラッシュ・メモリ・プログラミング・モードへの引き込みは RESET 端子の状態で行われます。しかし、FPB で COM ポート接続を行う場合、COM ポート接続時点でリセットを解除する仕様となっているため、デバッグおよび書き込み時は RESET 端子がポートとして動作するため、本現象が発生します。

図 1-1 に PORTSELB = 1 および 0 のときの、FPB のフラッシュ・メモリ書き込み動作のフローを示します。

図 1-1 FPB のフラッシュ・メモリ書き込み動作フロー



2. 復旧方法

統合開発 (IDE) や Renesas Flash Programmer (RFP) を使用し、オプション・バイトを禁止設定前の状態 (PORTSELB = 1) に書き換えることで復旧が可能です。

2.1 E2 エミュレータ, E2 エミュレータ Lite 使用時

E2, E2 Lite を使用する場合、FPB を PC へ接続した直後に、E2, E2 Lite が兼用端子にロウ・レベルを入力し、その状態を維持します。そのため、電源投入後にリセットが解除されることなく、リセット入力がある状態を維持できるため、書き換えが可能です。

2.2 復旧アプリ使用時

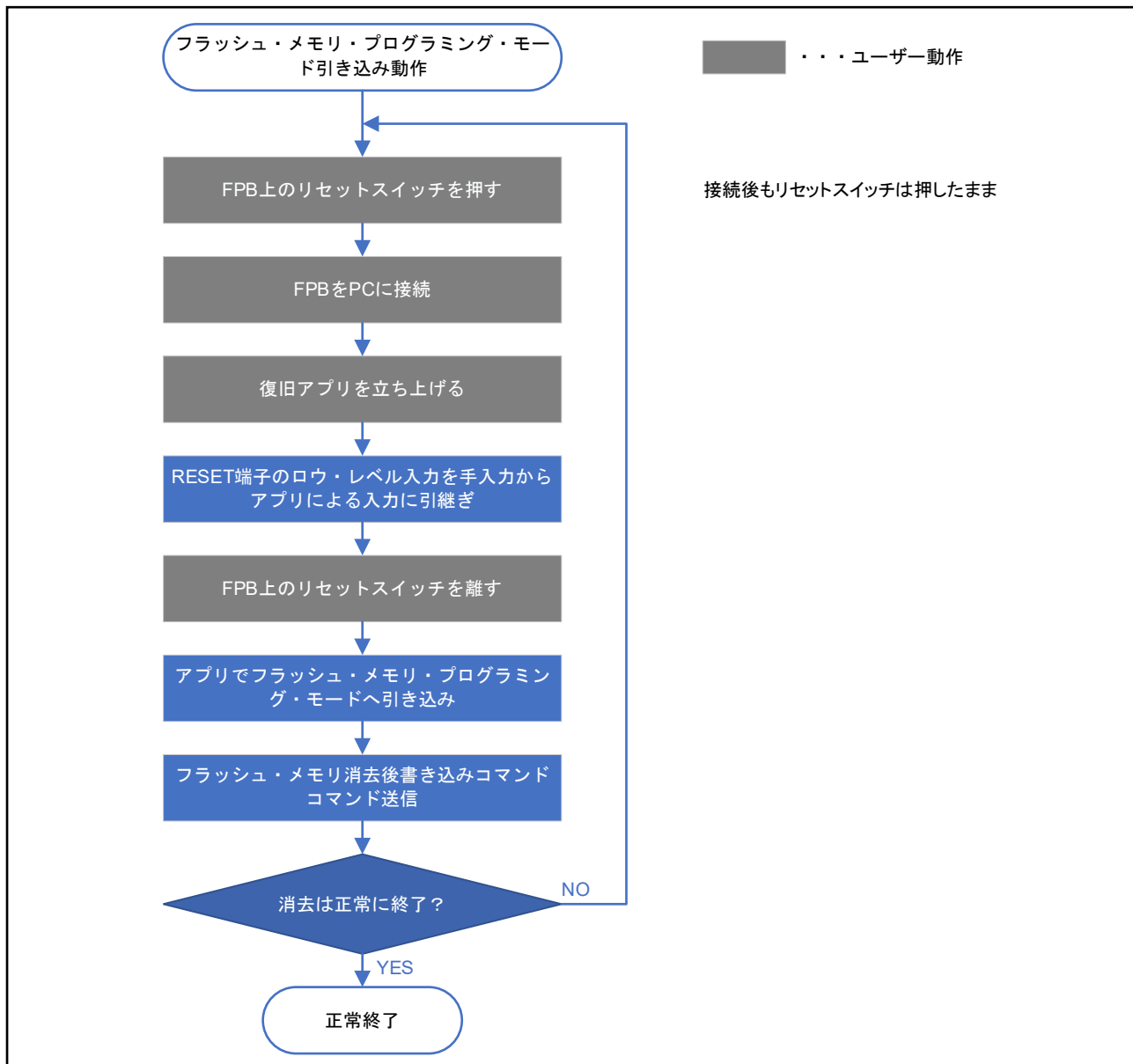
2.2.1 復旧フロー

FPB を COM ポートに接続した後、リセット入力を有効にするために、FPB 上のリセットスイッチを押した状態 (GND 接続) で PC に接続し、復旧アプリでロウ・レベルを引き継ぎ、その状態を維持します。

その後、復旧アプリを使用して、フラッシュ・メモリ・プログラミング・モードへ引き込み、消去後書き込みコマンドを送信してフラッシュ・メモリを消去することで、ユーザー・オプション・バイトを禁止設定前の状態 (PORTSELB = 1) に戻します。

図 2-1 に復旧アプリ使用時の復旧フローを示します。

図 2-1 復旧アプリ使用時の復旧フロー



2.2.2 動作確認条件

復旧アプリは、下記の条件で動作を確認しています。

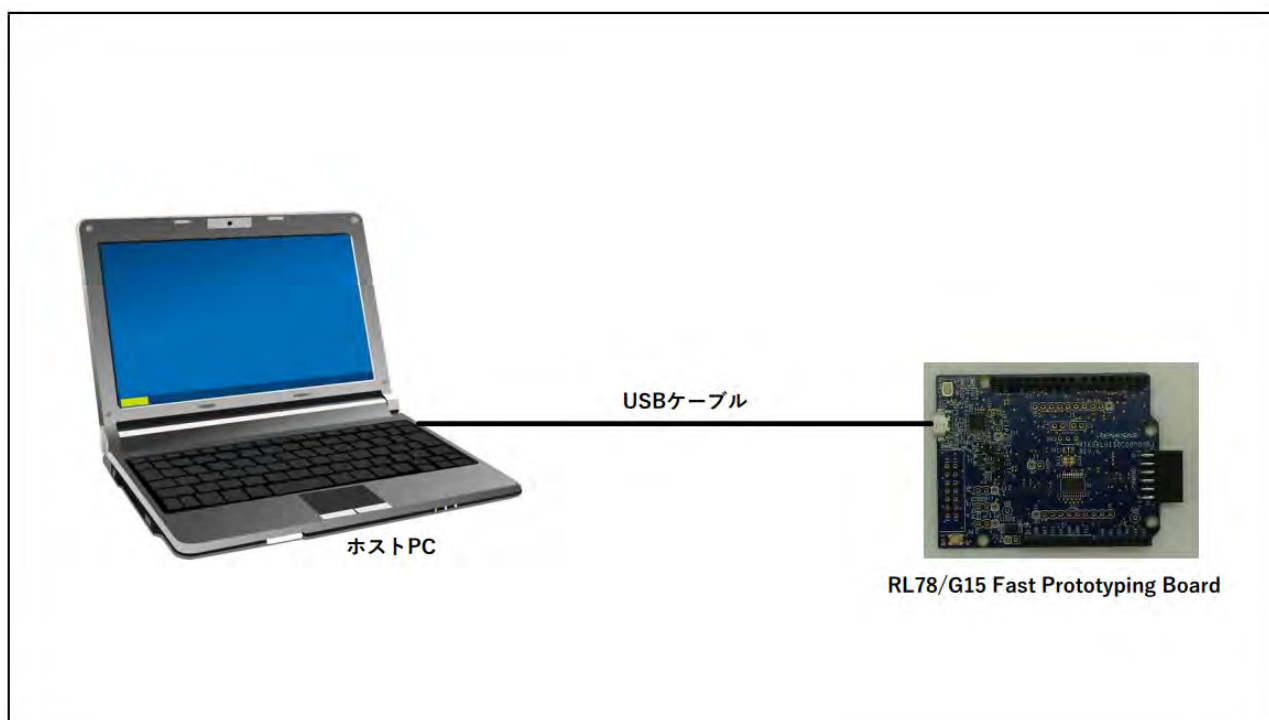
表 2-1 動作確認条件

使用ボード	RL78/G15 Fast Prototyping Board (RTK5RLG150C00000BJ) RL78/G16 Fast Prototyping Board (RTK5RLG160C00000BJ)
デバッグツール	COM ポート
フラッシュ・プログラミングツール	復旧アプリ (RL78/G15G16 Flash Eraser)
ユーザー・オプション・バイト (000C1H)	PORTSELB = 1 (RESET入力)

2.2.3 ハードウェア説明

図 2-2 に本アプリケーションノートで使用するハードウェア構成例を示します。
COM ポートデバッグと同じハードウェア構成で復旧が可能です。

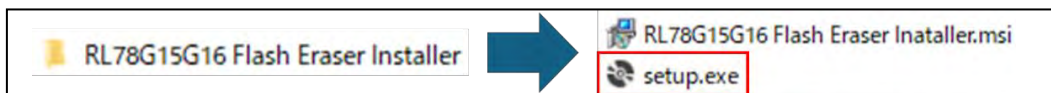
図 2-2 ハードウェア構成



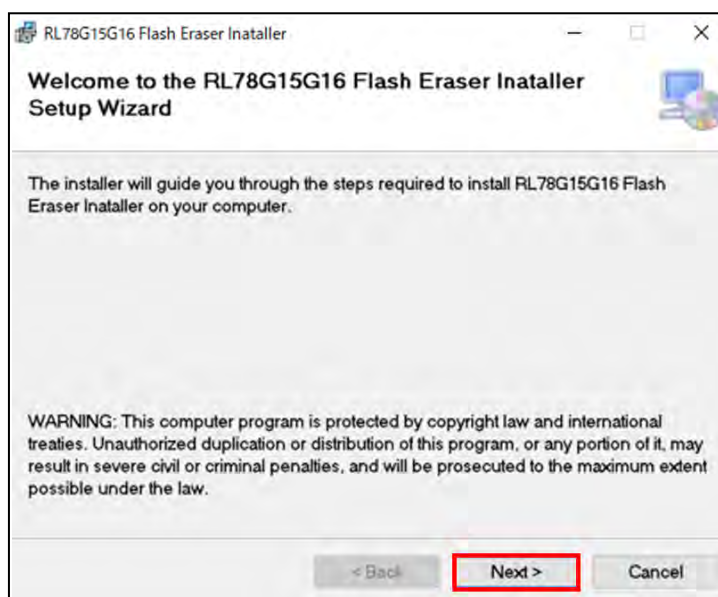
2.2.4 復旧アプリのインストール手順

復旧アプリのインストーラーはルネサスエレクトロニクスのホームページより入手してください。
下記の (1) ~ (6) に復旧アプリのインストール手順を示します。

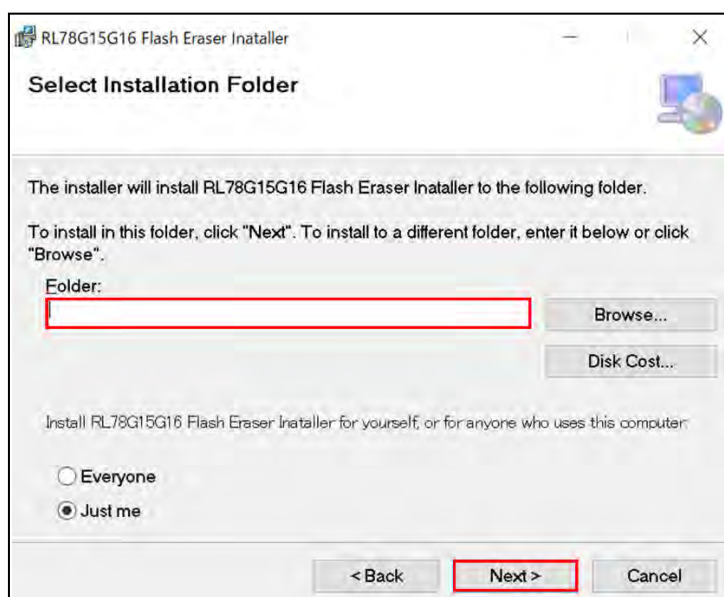
- (1) r01an7363.zip を展開します。
- (2) ファイル「RL78G15G16 Flash Eraser Installer」を開き、「setup.exe」を選択してインストーラーを起動します。



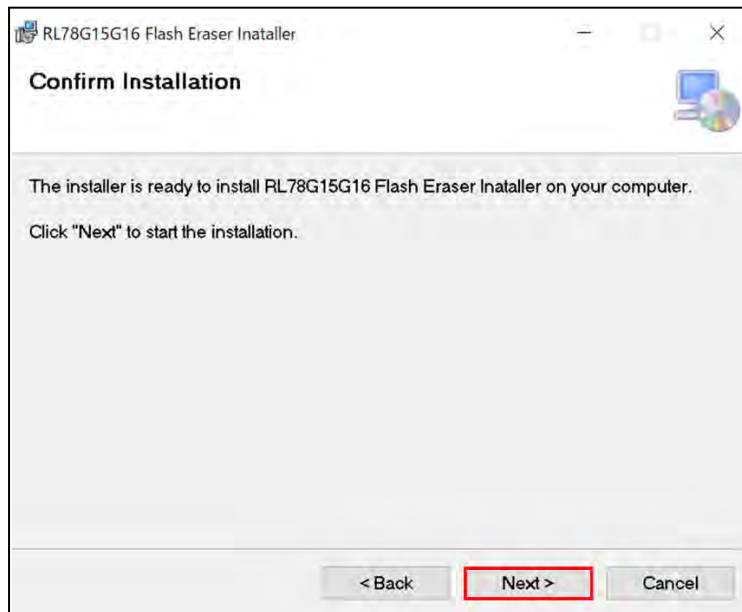
- (3) 「Next」を選択します。



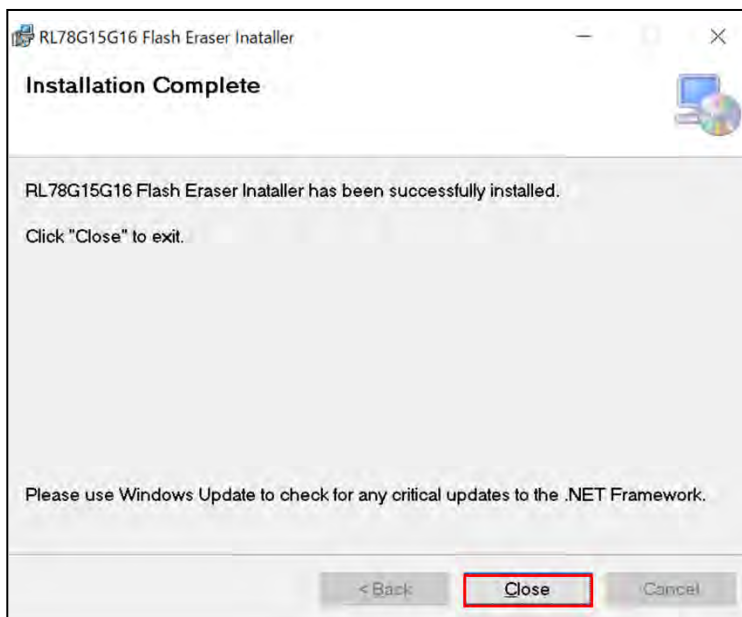
- (4) インストール フォルダを指定し、「Next」を選択します。



(5) 「Next」を選択すると、インストールが開始します。



(6) 「Close」を選択して、インストーラーを終了します。



2.2.5 User Interface (UI)

図 2-3 に復旧アプリの UI の説明を示します。

図 2-3 復旧アプリの UI



- ① Help ボタン・・・アプリのバージョン確認、ルネサス公式サイトへのアクセスができます。
- ② SW1, SW2・・・FPB の復旧手順でユーザーが操作します。
- ③ メッセージボックス・・・操作手順や注意事項、実行結果が表示されます。

2.2.6 操作手順

以下 (1) ~ (5) に復旧アプリの操作手順を示します。

(1) 「r01an7363.exe」を選択し、アプリを起動します。



(2) FPB を PC に接続する前に FPB 上のリセットスイッチを押下します。

(3) リセットスイッチを押し続けた状態で、PC に接続します。接続後もリセットスイッチは押し続けたままにしてください。

(4) アプリ起動後、アプリ上の SW1 を押下します。



- (5) メッセージボックスに表示される「OK: Reset signal is low.」を確認後、押下している FPB 上のリセットスイッチを離します。その後、アプリ上の SW2 を押下します。SW1 の押下に対してエラーが発生した場合、3 秒間エラーメッセージが表示された後、手順 (4) に自動で戻りますので再度やり直してください。



- (6) 正常にフラッシュ・メモリが消去されると「OK: The flash memory has been erased.」が表示されます。「×」を押下し、アプリを終了してください。SW2 の押下に対してエラーが発生した場合、3 秒間エラーメッセージが表示された後、手順 (4) に自動で戻りますので再度やり直してください。



2.2.7 注意事項

- ・FTDI チップを使用した他のボード (FPB を含む) を複数台接続しないでください。正常にフラッシュ・メモリを消去できない可能性があります。

3. 参考ドキュメント

RL78/G15 ユーザーズマニュアル ハードウェア編 (R01UH0959J)
RL78/G16 ユーザーズマニュアルハードウェア編 (R01UH0980J)
RL78 ファミリユーザーズマニュアルソフトウェア編 (R01US0015J)
RL78 フラッシュプログラマ (RL78 プロトコル B 編) (R01AN6782J)
RL78 マイクロコントローラ (RL78 プロトコル B) シリアルプログラミング編 (R01AN6332J)
(最新版をルネサスエレクトロニクスホームページから入手してください。)

テクニカルアップデート

(最新の情報をルネサスエレクトロニクスホームページから入手してください。)

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2024.9.2	—	初版発行

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本ドキュメントおよびテクニカルアップデートを参照してください。

1. 静電気対策

CMOS 製品の取り扱いの際は静電気防止を心がけてください。CMOS 製品は強い静電気によってゲート絶縁破壊を生じることがあります。運搬や保存の際には、当社が出荷梱包に使用している導電性のトレイやマガジンケース、導電性の緩衝材、金属ケースなどを利用し、組み立て工程にはアースを施してください。プラスチック板上に放置したり、端子を触ったりしないでください。また、CMOS 製品を実装したボードについても同様の扱いをしてください。

2. 電源投入時の処置

電源投入時は、製品の状態は不定です。電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

3. 電源オフ時における入力信号

当該製品の電源がオフ状態のときに、入力信号や入出力プルアップ電源を入れないでください。入力信号や入出力プルアップ電源からの電流注入により、誤動作を引き起こしたり、異常電流が流れ内部素子を劣化させたりする場合があります。資料中に「電源オフ時における入力信号」についての記載のある製品は、その内容を守ってください。

4. 未使用端子の処理

未使用端子は、「未使用端子の処理」に従って処理してください。CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。

5. クロックについて

リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

6. 入力端子の印加波形

入力ノイズや反射波による波形歪みは誤動作の原因になりますので注意してください。CMOS 製品の入力がノイズなどに起因して、 V_{IL} (Max.) から V_{IH} (Min.) までの領域にとどまるような場合は、誤動作を引き起こす恐れがあります。入力レベルが固定の場合はもちろん、 V_{IL} (Max.) から V_{IH} (Min.) までの領域を通過する遷移期間中にチャタリングノイズなどが入らないように使用してください。

7. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。アドレス領域には、将来の拡張機能用に割り付けられている リザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

8. 製品間の相違について

型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。同じグループのマイコンでも型名が違えば、フラッシュ・メモリ、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違えば製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等
当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。
7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を 100%保証されているわけではありません。当社ハードウェア/ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限りません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因しまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア/ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。

- 11.当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
 - 12.お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものといたします。
 - 13.本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
 - 14.本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。
- 注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。
- 注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

本社所在地
〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フオ
レシア）
www.renesas.com

お問合せ窓口
弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最
寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社
ウェブサイトをご覧ください。
www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレク
トロニクス株式会社の商標です。すべての商標お
よび登録商標は、それぞれの所有者に帰属しま
す。